



前途彩々

～女性活躍推進企業を訪ねて～



エス・パックス株式会社



第4回目となる今号は、大正8年に下園紙器店として創業以来、段ボール・美粧紙器製造業として様々なパッケージの企画から製造まで一連の業務を行うエス・パックス株式会社を訪問し、製造現場で日々奮闘する4名の社員と製造部課長の上東さんに話を伺いました。

—まずは皆さんの日々の業務内容を教えてください。

Sさん：私は、段ボール製造工程のうち、段ボール製品の不要な部分をハンマーや木型で落とし、正規の形にする平盤打ち抜き工程を担当しています。

Fさん：私は化粧箱製造の最終工程のサックマシンから流れてくる製品の検品や梱包を主に担当しています。

Kさん：私は、お客様の要望に沿って紙箱に様々な色や模様をついた貼り紙を貼り、貼り箱を製造する作業を担当しています。

Mさん：私は、箔押しという化粧箱やパッケージに箔を圧着する加工を担当しています。箔の種類や質感が一般的な印刷と異なるため、印刷ではできない特別感や高級感を出すことができます。



一段ボール部門初の女性正社員、不安はありませんでしたか？

Sさん：周りに男性社員が多い職場ということは分かった上で入社しましたが、相談できる人がいるか、力仕事は大丈夫か等、入社前は不安だらけでした。

実際に入社すると、周りの皆さんからの優しいサポートや、気にかけてよく声をかけてもらえる、とても温かい職場で、今では入社してよかったと心から思っています。初めの頃は、出来る作業内容も少なかったのですが、整理整頓などで役に立てるよう心掛けていましたね。



一製造業を選んだきっかけなどはありますか？



Mさん：私は、もともと派遣社員として1年間勤務していました。出来なかった作業が出来るようになって、辞めるのはもったいないと思うようになりました。

また、派遣社員より正社員になった方が出来る作業の幅が広がるので、正社員として挑戦してみようと思いました。ここでは、色々なことに挑戦できる環境が整っているのです、毎日がとても充実しています。

一入社前の工場のイメージと、実際に働いてみてどうでしたか？

Fさん：私は子供の頃から工作が好きで、将来はものづくりの仕事に携わりたいと思っていました。

それでも、入社前は体力面や、年の離れた男性社員は怖いなという印象を持っていたので不安がありました。

実際は、声をかけてもらったり、趣味が合う人もいて、とてもよい雰囲気です。和気あいあいとしつつも、作業はしっかりとする、メリハリのある働きやすい環境ですね。



Kさん：工場は体力を使う仕事なので、初めは不安が大きかったです。入社当時は、工場では女性はそこまで活躍できないという印象を持っていたので、早く寿退社したいなと考えるくらいでした(笑)。

でも、職場の皆さんは家族のように接してくれる環境で、優しくサポートをしてもらっています。今は、重いものを持ってない等、他の社員の方に迷惑をかけることが悔しくて、早く色々な仕事を覚えて頑張りたいと思っています。

—皆さんのモチベーションの高さがうかがえます

Mさん：営業さんから、「取引先の方が喜んでいたよ」と教えてもらった時は、とても励みになります。

箔押しは、形がバラバラだったり、箔が上手く載らないこともあります。また、材料の種類によって押し方も違います。デザインの部分でとても重要な工程なので、お客様から喜んでもらえたという声が聞けると、「頑張ってたかった、また頑張ろう」という気持ちになれますね。



—工場ならではの大変さもあります

Fさん：工場は夏は暑く、冬は寒いので大変です。

また、私が担当する検品は立ちっぱなしの作業になるので、初めの頃は足が疲れて、次の日に筋肉痛のような痛みがあって大変でした。でも、今は慣れてきたので足が痛くなることもなくなりましたね。



Sさん：同じ段ボールで同じ製品を扱っていても、紙は湿度や乾燥の影響が大きく、機械の設定はその日に合った微調整が必要です。機械といっても単純作業ではないので、状況に応じた対応ができるよう、日々勉強しながら、お客様に喜んでもらえる品質の良い製品作りに努めています。

—就業環境はどうか？

Mさん：休みが取りやすく、繁忙期以外は定時で退社できるので、オンとオフの切替がしっかりできています。他社では、日祝は休みでも土曜日は出勤するという工場も多いので、繁忙期を除き基本、土日祝がしっかりと休めるのはありがたいですね。

—オンとオフの切替ができると、リフレッシュできますね

Kさん：私は、家に帰ってお酒を飲みながら、その日の仕事で出来なかったこと、出来たことを3：7の割合で書くようにしています。出来なかったことを反省しつつも、出来たことの方を多く書くことで、「今日の私はこんなに頑張ったんだ」と感じて前向きになれるんです。そうすると、また明日も頑張ろうという気持ちになれますね。



—今後の目標を教えてください

Sさん：3年目になり、出来ることや任される仕事も増えてきましたが、将来的には機長のように、一人で機械を回せるようになりたいと思っています。そのためにも、スキルを身につけられるように毎日頑張りたいと思います。

Mさん：いずれは他の男性社員の方が扱っている機械を担当できるよう、これからも日々の業務に努め、仕事の幅を広げていきたいと思っています。



Kさん：とにかく勉強して、まずは出来ることをどんどん増やしていきたいです。将来的には、女性初の班長や機長になれるよう、頑張っていきたいと思います。

Fさん：今は検品や梱包を行っていますが、その流れてくる機械のセッティング等も出来る機長になって、より多くの仕事に携わっていきたいです。

一段ボール部門で初めて女性を正規採用するということで心配も多かったのではないのでしょうか？また、今後の展望を教えてください

上東さん：工場というだけで敬遠されがちで、製造する機械も大きく、以前は一段ボール部門で女性の正社員を採用する方針はありませんでした。3年前から、女性活躍推進企業ということで女性にも頑張ってもらえる環境づくりを始めましたが、元々は男性の仕事であったため、女性を採用しても続くだろうかという心配がありました。そんな不安をよそに、最初に正社員となったSさんがとても頑張ってくれて、女性の正社員を採用する方針が進んでいきました。そこから一人二人と女性の正社員を増やしてきましたが、これまでにはない視点も加わることで、作業環境を含め、周りの社員も良いふうになってきています。



製造部 課長 上東さん

工場で働く社員のために、作業環境はもっと良くしていかなければなりません。今後も女性の採用は増やす予定ですが、女性社員が増えるということは、作業環境が良くなっている証だと考えているので、できることから改善していき、性別問わず活躍できる環境を作っていきたいと思います。

一段ボールは、リサイクル率が95%を超える、環境負荷の低い優れた包装資材です。環境にやさしいものを作っている誇りと責任感を、これからの若い世代に伝えていきたいですね。

エス・パックス株式会社	
代表者	代表取締役社長 下園 廣一
設立年月日	昭和28年3月
所在地	本社：鹿児島市谷山港2丁目2番地9 事業所：宮崎事業所、枕崎事業所
電話	099-262-1111
業種	パルプ・紙・紙加工品製造業
営業品目	ダンボール・多色刷美術印刷・トムソン箱・美粧箱・紙箱・シール・ラベル・包装紙・紙袋・ビニール袋・各種包装資材
H P	https://www.s-pax.co.jp/



一人一人の向上心の高さには目を見張るものがありました。仕事へのひたむきな姿勢と、会社全体の雰囲気の良いさが伝わってきました。